

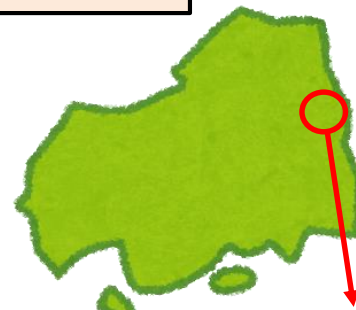
取組の概要

取組の概要 : 施設野菜(トマト)産地の形成の推進
 計画作成主体 : 神石高原町農業再生協議会
 対象品目 : トマト(産地面積:12.11ha)
 主な取組主体 : 神石高原町
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 整備事業(集出荷貯蔵施設)
 状況 : 生産支援事業(パイプハウス資材の導入、養液土耕システム、自動巻上装置のリース導入)

ポイント

コールドチェーン化による品質確保や、選果精度の向上、新規就農等による産地の生産量拡大に対応できる選果能力の確保により、販売額10%以上の増加を実現。
 新規就農支援による産地面積の拡大。

地区の概要



広島県神石郡神石高原町
 神石高原町(まる豊とまと)地区

産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 9.6ha
 販売額 : 3,625千円/10a

〈目標:H32年度〉

作付面積 : 12.11ha
 販売額 : 4,097千円/10a



推進体制

地域の関係者(神石高原町、福山市農業協同組合、神石高原農業公社、広島県)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 神石高原町まる豊とまと新規就農者育成研修事業により、新規就農者の育成・定着を支援。
- 町・JAが連携して、産地の認知度向上や新たな販路開拓等の活動を展開。

〈広島県単独事業〉

- ひろしま農業創生事業により
- 基礎研修・模擬経営研修の施設整備を支援
- ハウス導入ほ場の基盤を整備

事業効果

- コールドチェーンの導入や選果精度の向上で品質を確保。
- 処理能力の向上で新規就農者の育成や、既存経営体の経営拡大が促進され、生産量が拡大。
- 販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、トマトの産地強化を実現。
- 新規就農者のハウス資材導入により、面積及び生産量拡大。

～トマトの販売額～

